

61年度神戸市 社会人リーグ終了

61年4月から91チームが参加して行われた市社会人リーグ戦も12月で無事終了することができた。これもグラウンドを提供して下さった、富士電機を始め各企業、学校のご協力と各チーム責任者、社会人委員の努力の結果であり感謝します。

1部はビートルズAが若さと練習量で2連覇を果し、神戸FC勢が2～4位を占めた。2部はAブロックでKR&ACが抜群の力で無失点で全勝優勝し、Bブロックは混戦の末滝川クラブが初優勝した。

3部は前期2部から転落した三菱電機と、神戸製鋼が地力を発揮して勝ち、関電神戸とスワローFCも、ひさしぶりに2部復帰を果し、新規加入の神戸オフサイドも御影クラブを倒して2部昇格となった。

62年度新規登録チームの募集

新規登録チームは2月12日までに神戸市サッカー協会(232-0753)へ連絡のうえ、2月19日の社会人運営会議(18:30から王子登山研修会)に出席して下さい。会議終了後説明会を行います。

費用は、チーム登録料として73,000円+800円×人数分、スポーツ傷害保険料 1,040円×人数の予定です。

市社会人リーグ(1月25日)

- 1、2部入替戦結果
- 1部 川重発本 0-3 須磨クラブ
神高クラブ 3-2 神戸市役所B
(須磨クラブは62年度、1部へ昇格)

本紙1月号に掲載できなかった。3部リーグの試合結果は次表の通りです。

昭和61年度 神戸市社会人リーグ 試合結果

3部A 11チーム										
順位	チーム名	オ	御	鶴	T	武	太	C	須	鈴
1	神戸オフサイド	●	○	○	○	○	○	○	○	○
2	御影クラブ	○	●	○	○	○	○	○	○	○
3	鶴甲一丁目	○	○	●	○	○	○	○	○	○
4	N T T 神戸	○	○	○	●	○	○	○	○	○
5	武陽クラブ	○	○	○	○	●	○	○	○	○
6	太陽神戸銀行	○	○	○	○	○	●	○	○	○
7	ビートルズC	○	○	○	○	○	○	●	○	○
8	須磨グリーンFC	○	○	○	○	○	○	○	●	○
9	鈴高OB A	○	○	○	○	○	○	○	○	●
10	F C バム	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	是則運輸	○	○	○	○	○	○	○	○	○

昭和61年度兵庫県社会人都市リーグ決勝大会

ヤンマー尼崎	1	丹有 1位	0
神戸FC・A	4	双和クラブ	7
神鋼加古川	1	サントアンドレ	3
兵庫県庁	3	姫路 1位	1
日触姫路	1	武庫川クラブ	0
神高クラブ	4	姫路 S C	3
古河電工	0	市西クラブ	5
		ビートルズA	5

有宏スポーツ

東灘区御影本町4丁目11-9 ☎078(412)2601
阪神御影駅南側西へ30m

塩谷スポーツ

兵庫区大開通7丁目5-26 ☎078(576)0870
高速大開駅東

MEN'S SHOP MAC

三宮センター街店 ☎078(391)0895
プレザージュ・トアロード店 ☎078(391)0896
ドルチェ・マック・センター街店 ☎078(332)0141

ヤノ運動用品

本店 中央区三宮町3-8-1 ☎078(391)1121
ファイブ店 中央区三宮町2-7-8 ☎078(331)4578
六甲、長田、白川台、名谷、西明石、高砂、姫路、岡山

3部B 8チーム										
順位	チーム名	電	御	富	住	阪	経	鈴	勝	分
1	関電神戸	●	○	○	○	○	○	○	6	0
2	御影 I J r	○	●	○	○	○	○	○	5	1
3	富士電機	○	○	●	○	○	○	○	3	1
4	東灘クラブ	○	○	○	●	○	○	○	3	3
5	住友ゴム	○	○	○	○	●	○	○	3	0
6	阪神 E F C	○	○	○	○	○	●	○	2	1
7	星陵クラブ	○	○	○	○	○	○	●	1	1
8	神戸経理学校	○	○	○	○	○	○	○	1	1

3部C 10チーム														
順位	チーム名	菱	D	C	県	タ	富	灘	大	三	勝	分	勝	点
1	三菱電機	●	○	○	○	○	○	○	○	○	9	0	0	18
2	K F C D	○	●	△	○	△	○	○	○	□	6	2	1	14
3	K F C C	○	○	●	○	○	△	○	○	□	6	2	1	14
4	県職神戸	○	○	○	●	○	○	○	○	○	5	0	4	10
5	タカラバネ	○	○	△	○	●	△	○	○	○	3	2	4	8
6	富士通チ	○	○	○	○	△	○	○	□	△	3	2	4	6
7	灘 F C B	○	○	○	○	△	○	○	○	○	2	2	5	6
8	八代学院ク	○	○	○	○	○	○	●	○	○	2	0	7	4
9	大森運漕店	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	1	7	4
10	三星堂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	1	7	1

3部D 9チーム										
順位	チーム名	ス	灘	西	御	水	川	三	勝	分
1	スワローFC	○	○	○	○	○	○	○	6	0
2	灘 生 協	○	○	○	○	○	○	○	5	0
3	F C なかよし	○	○	○	○	○	○	○	4	2
4	川重西神戸	○	○	○	○	○	○	○	4	1
5	御影工 O B	○	○	○	○	○	○	○	5	0
6	I B F C	○	○	○	○	○	○	○	3	2
7	水 道 局	○	○	○	○	○	○	○	4	0
8	川西倉庫	○	○	○	○	○	○	○	2	1
9	三ツ星ベルト	○	○	○	○	○	○	○	0	0

3部E 10チーム														
順位	チーム名	鋼	鈴	ア	ホ	川	舞	板	ガ	ス	ロ	勝	分	勝点
1	神 鋼 本 社	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8	1	0 17
2	鈴 高 O B B	△	●	○	○	○	○	○	○	○	○	8	1	0 17
3	ア パ ッ チ F C	●	●	●	○	○	○	○	○	○	△	5	1	3 11
4	ホ ワ イ ト ソ ッ ク ス	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	5	0	4 10
5	川 鉄 建 材	●	●	○	○	○	△	○	○	○	○	4	1	4 9
6	舞 子 台 F C	●	●	○	○	△	△	○	○	○	○	2	3	4 7
7	板 宿 F C	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	3	1	5 7
8	ガラクターズ	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	3	0	6 6
9	ストライパーズ	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	0	8 2
10	ロ ジ エ	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	0	2	7 2

順位	特 設	朝	三	育	シ	北	カ	ア	白	国	勝	分	負	勝	点
1	朝 銀 信 組	●	○	○	○	○	○	○	○	○	9	0	0	1	18
2	三 菱 F C	○	●	○	○	○	○	○	○	○	8	0	1	0	16
3	育 英 ク ラ ブ	○	○	●	△	○	○	○	○	○	5	2	2	12	11
4	シ ン エ イ	○	○	○	●	△	○	○	○	○	6	1	2	2	12
5	神 戸 北 ク	○	○	○	○	○	○	○	●	○	3	1	5	7	
6	かつおぶし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	4	0	5	6	
7	ア ー ベ ン ト	○	○	○	○	○	○	○	○	△	2	2	5	6	
8	白 鶴	○	○	○	○	○	○	△	○	○	1	1	7	3	
9	国 鉄 鷹 取	○	○	○	○	○	○	○	○	○	1	1	7	1	
10	上 組	○	○	○	○	○	○	○	○	○	2	0	7	0	

津田 S C	3	北 播 1位	1
赤塚山 F C	0	鐘化高砂	2
神戸FC・B	1	神戸FCユース	1
武庫川同好会	1	明南 F C	4
六甲ヒルケル	3	アーセナル	0
相生 F C	2	岩谷クラブ	0
川重発本	0	旭硝子高砂	4
丹友クラブ	0	決勝トーナメント	
神戸FC・A	0	双和クラブ	4
明南 F C	1	旭硝子高砂	2

スメラ

湊川店 湊川プラザ2階 ☎078(511)2234
鈴蘭台店 ダイエー西側 ☎078(592)0470

加茂トアロード店

中央区三宮町3-8-8 ☎078(392)0234
国鉄元町駅南側東へ100m

サッカーショップ PKF

中央区下山手通3丁目3-10 ☎078(332)5519

ワールドスポーツ

東灘区深江北町4丁目7-3 ☎078(453)2186
阪神深江駅北側信号西

関西府県リーグ決勝大会 (Aグループ) (Bグループ)

チーム名	大商	神	F	伏	見	岩	出	チーム名	奈良	松	下	写	大
大商	○	○	○	○	○	○	○	奈良	○	○	○	○	○
大商	○	○	○	○	○	○	○	奈良	○	○	○	○	○
大商	○	○	○	○	○	○	○	奈良	○	○	○	○	○
大商	○	○	○	○	○	○	○	奈良	○	○	○	○	○
大商	○	○	○	○	○	○	○	奈良	○	○	○	○	○
大商	○	○	○	○	○	○	○	奈良	○	○	○	○	○
大商	○	○	○	○	○	○	○	奈良	○	○	○	○	○

決勝(12月28日)
大商大クラブ 2-1 奈良教員クラブ
大商大クラブは自動昇格
入替戦
北摂けまり団 0-0 奈良教員クラブ
0-1
(1勝1分けで奈良教員クラブが昇格)

審判講習会・研修会のお知らせ
神戸市協会では、主として市社会人リーグの審判員を対象に、以下の通り審判講習会と研修会を開催する。

1. 審判講習会(新規取得希望者)
受講対象者 新規に4級審判員の資格の取得を希望する者
日 時 3月7日(土) 18時より
場 所 神戸市立勤労会館
(三宮駅南側)
受 講 料 3,000円
持 参 品 筆記具、写真(3cm×4cm)2枚
※審判手帳を当日すぐに渡すので、写真を忘れないようにすること。

2. 審判研修会(有資格者)
受講対象者 市社会人リーグ登録審判員で下記に該当する者のうち61年11月の研修会を受講していない者。
①59年度研修会受講者
②61年1月及び3月に4級資格を取得した者
日 時 3月8日(日) 10時及び14時
※午前、午後のいずれかを受けること。
場 所 市立スポーツ会館
(磯上グラウンド内)
受 講 料 500円
持 参 品 審判手帳、ルールブック
筆記具
※審判手帳を紛失した場合は、再発行するので、写真(3cm×4cm)2枚と500円を用意のこと。

なお、社会人リーグ登録審判員は2年ごとの研修会受講が義務づけられており、上記研修会の対象該当者は、受講しないとリーグ戦の審判をする資格がなくなる。社会人リーグで3名以上の有資格者(新規取得者を含む)がいらないチームは、62年度の登録が受けられないので、該当者はもちろん受講のこと。
さらに、社会人リーグ関係以外の受講希望者も、新規の場合講習会、既に4級以上を取得している場合研修会の受講を当日受け付け。

神戸市社会人運営会議予定 次回 3月12日(木)

3月19日。いずれも18時30分から王子登山研修所。社会人リーグに参加している各チームの代表者が必ず一人出席して下さい。

個人購読のご案内

弊紙を個人で購読ご希望の方は、1年分として70円切手12枚を同封のうえ、次のところへお申し込みください。
〒650 神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
神戸市サッカー協会 ☎078-232-0753
なお、数人分まとめて申し込まれる場合は割引がありますのでご連絡ください。



ユ・ハイム

第14回神戸ジュニア・サッカー ウインター・フェスティバル

第14回神戸ジュニア・サッカー・ウインター・フェスティバルは、新春の1月5日から7日まで、市内7会場を使って熱戦を展開した。参加チームは中学2年生から小学5年生まで史上最高の48チームで、4部門に分かれて優勝を争った。その結果、中2以下の部では読売SCと地元千歳SCが1-1のまま決着がつかず両者優勝。中1以下の部でも大磯FCと交野FCが0-0で引き分け、両者優勝となった。小6以下の部は、昨年の覇者多井畑SCが、決勝トーナメントの1回戦で西日本少年選抜を1-0で、準決勝で市内リーグチャンピオン高倉台SCをPK戦で降し、決勝でも千歳SCを1-0と強豪を次々に破って見事2年連続2度目の優勝を飾った。小5以下の部では、地元神戸FCと津山SSが戦い、1-1で終了、なんと3部門が両者優勝という珍記録が生れた。

さて、昨年より全日本クラブ・ジュニア・ユース選手権が協会主催で行われるようになり、今年も8月に長野県白馬村で行われる。そこで、今年中は中2以下の部に今年のクラブ大会の覇権をねらう全国のクラブ・ジュニアチームに参加を呼びかけ、関東から九州まで幅広い地域から16チームが参加した。決勝に進出したのは、クラブのトップチームが天皇杯のチャンピオンになった読売クラブと、片や千歳FC。前半、俊足坂元の右サイドの突破から中であわせて千歳がリードしたが、さすが読売も個人技を生かした攻めでその直後に同点とした。しかし、その後は連戦の疲れも出て、相方とも得点にいたらず、両者優勝となった。

また、小6の部には市内少年リーグ上位8チームが出場し、県外チーム8チームと争ったが、多井畑、千歳、高倉台の3チームが上位を占め素晴らしい活躍を見せた。

神戸弘陵高校新人戦 神戸市予選に優勝

昭和61年度市高校新人大会は12月20日から開催され、1月24日神戸中央球技場で行われた決勝戦へ駒を進めたのは突破力のあるFWをもつ北須磨、高い技術と激しい当たりを身上とする神戸弘陵の1部校同士であった。
BKの裏へのクロスボールから先取点をあげた北須磨。それに対し、そのすぐあとBKのすきをついてFWが持ちこみセンタリング。ゴール前でブッシュして弘陵が追いついた。ともに持ち味を十分に出した決勝戦にふさわしいすばらしいゲーム展開になった。それ以後ともに決定的なチャンスをものにできず引き分け、PK戦に。PK戦は3対2で弘陵が勝ち、県大会の第1シード権を得た。
残る県大会出場校は、須磨東、神戸甲北、御影工、神戸の4校と決まった。今大会は、八代、御影、赤塚山など、1部強豪校が途中で姿を消すという破綻はあったが、逆に言えばそれだけ神戸のレベルが高かったと言うこと。

優 勝	神戸弘陵	(6位決定戦)
準優勝	北 須 磨	八 代 2-3 御影工
第三位	神戸甲北	友が丘 0-3 神 戸
	須 磨 東	

発行所 神戸市サッカー協会
神戸市中央区八幡通2-1-10
三木記念神戸市立スポーツ会館内
〒651 ☎(078)232-0753
発行人および編集人 一北 四郎
神戸市灘区上野通6丁目3-12
〒657 ☎(078)861-3100

毎月1回10日発行 購読料1部50円

3部門で両者優勝。光る地元勢の活躍



小5の部 神戸FC対明治北戦より
写真提供 共同写真企画

第14回ウインター・フェスティバル結果

【中2以下の部】
〈1次リーグ〉A組①神戸FC②高浜FC(高知) ③明倫FC④いかるがSC(奈良)
B組①交野FC(大阪)②大河FC(広島)
③刈谷SS(愛知)④甲西SC(山梨) C組①千歳②愛知③みわ(鳥取)④松原(大阪)
D組①読売(東京)②ヤマハ(静岡)③住北(大阪)④トナカイ(福岡)
〈決勝トーナメント・順位トーナメント〉
優勝読売・千歳、3位神戸、4位交野、5位愛知、6位高浜、7位ヤマハ、8位大河、9位住北、10位みわ、11位刈谷、12位明倫、13位いかるが、14位トナカイ、15位松原、16位甲西
【中1以下の部】
〈1次リーグ〉A組①大磯FC(愛知)②枚方FC(大阪)③神戸FC④上野FC(三重)
B組①交野②灘中③住北④みさき

〈決勝トーナメント・順位トーナメント〉
優勝交野・大磯 3位枚方、4位灘中、5位みさき、上野、7位神戸、8位住北
【小6以下の部】
〈1次リーグ〉A組①千歳SC②西日本選抜③東灘JFC④高石中央(大阪) B組①高倉台SC②交野FC③みさきFC④長尾JSC(香川) C組①多井畑SC②枚方FC③神野FC④ひよどり台SC D組①米子SS(鳥取)②イーグルスFC(千葉)③神戸FC④垂水SS東舞子
〈決勝トーナメント・順位トーナメント〉
優勝多井畑、2位千歳、3位高倉台、4位米子、5位西日本選抜、6位交野、7位イーグルス、8位枚方、9位神野、10位神戸、11位東灘、12位みさき、13位ひよどり台、14位長尾、15位垂水SS東舞子、16位高石中央
【小5以下の部】
〈1次リーグ

貴重な経験 また行きたい国立

全国高校選手権をふり返って

滝川第二高校 監督 黒田和生
昭和62年の元旦、東京の空は見事に晴れたり、遠くには富士山がくっきりと望めるといふ一年のスタートにふさわしい天気だった。高校生達が日本のサッカーを変えるか？全国のファンが注目する選手権大会の開会式がいよいよ始まるよとする時、私はスタンドで『来たぞ、国立へ』という思いで目頭がジンと熱くなった。

セレモニーは終わった。いよいよ闘いが始まる。しかし、一日の練習場へ向うバスの中であと数日あったならという不安が頭の中を占めていた。少し前までは、いや、さらにさかのばれば、チームを創って3年間、私も選手も片時も忘れなかったことは、『行きたい、国立』だったのに。

不安は的中し、1回戦岐阜工に0-1で負けた。勝負は時の運と慰めも聞かぬが、監督の未熟さ故に選手の力、兵庫の力を発揮出来ず終わったことが残念でなりません。彼等を育ててくれた関係者の方々に申しわけない気持ちで一杯です。しかし、この反省を次に生かして進む以外に道はありません。

県代表に決定して以来、この2ヶ月間は実にあたたかかった。そして完全に調整の失敗でした。いろいろありますが、
① 技術、戦術、体力、精神力の4要素について目標、方針、課題を明確にし、そして鍛え上げることが不十分であった。
② AチームのやるべきこととBチームのやるべきことの指導があいまいだった。という事に集約されると思います。

技術的には、ワンタッチコントロールを主眼においたが、ボールを止めることは出来ても展開というまでには至らなかった。

戦術的には、ペア〜グループ〜チームへと仕上げる段階でより高いレベルへ向う工夫と姿勢が不足していた。

精神力とも関連するが、トライして失敗しても次はなんとかやるさという気持ち、練習試合をしてぶざまに負けても、本番になればという甘さを脱脚することは出来なかった。

体力面では、ケガとかぜを最も注意したがどちらも防げなかった。ことに、主将の本街がはしかにかかり入院せざるを得なくなったのが12月26日。なんとか退院、チームに合流したのは31日だ。一日の練習が10日ぶりという状態で、二日はグラウンドに立てるか不安であったが、当日はフルによく回ってくれた。はっきり言って彼の存在なくして今の流2はありえない。彼を試合に送り出したことで今年のチームは満足せざるをえなかったのかも知れない。彼の欠場の間、盛り上がりがあったのはチームの未熟さだった。

そして、試合中は藤田が開始5分で足首をひねられてネンザという事態に落ち入り、中盤からフィニッシュへの構成に迫力を欠いた。大試合になればなるほど力を発揮する彼の存在が欠けたことは大きな痛手だった。

そして、最後は大会の奮闘気ですが、予想以上に華々しく、勝利にこだわったのを感じた。対戦相手のスカウティングから始まり、マスコミの取材攻勢、そのマスコミを利用したの陽動作戦などなど学ぶことも多かった。しかし本当の力があれば勝てるし、いいサッカーは出来るはずだ。

幸い選手達はプレッシャーを感じることもなくのびのびプレーしてくれた。高校スポーツは明るくなければならぬと思います。選手達はそれとおりやってくれました。次の段階で新チームに望むことは明るく強くということです。

選手ともども『また行きたい国立』です。紙面をお借りしてご支援いただいた関係者の方々のお礼を申し上げます。

そして今回の貴重な経験を生かして頑張ります。

神戸市少年リーグ 1部決勝 高倉台劇的な逆転で多井畑を破る

昭和61年度神戸市少年リーグは12月30日、神戸中央球技場で1部から5部までの表彰式を行い、10か月に及ぶリーグ戦の幕を閉じた。61年度の登録クラブ数は41団体、チーム数は218チーム、登録選手は2,732人を数え過去最高を記録した。『底辺の拡大こそがレベルアップに通じる』と長年努力してきた成果の表れであろう。リーグのマンモス化に伴い、運営上グラウンド確保などで様々な問題が生じてきているが、神戸の少年サッカーが年々盛んになっている証しとしてうれしい悲鳴と受け止めねばならない。

リーグ戦消化の新しい試みとして今年度から2部リーグを各チームの目標で二つのグループに分けた。Aグループは今年までのように優勝を争っていくチーム、Bグループは成績よりも試合の楽しさを味わうチームで、それぞれ目的に合ったところで参加できるように工夫された。

表彰式の前に行われた1部決勝戦では高倉台Aが初優勝を飾った。また2部優勝のひよどり台C、3部優勝のみさきC、4部優勝の北五葉A、5部優勝の本津Cの全てがリーグ初優勝で、比較的新しいチームが力をつけてきたと言える。優勝は逃したものの、全ての部で、三位以内に入賞した、古豪、多井畑SCの活躍は特筆すべきことである。

〈1部〉 決勝 12月30日 神戸中央
高倉台A 2 { 1 (0-1) 1 } 1 多井畑A
1 (0-0) 0 }
高倉台は1組で史上初の四連覇を狙う千歳を破り、多井畑も2組で危げなく勝ち進み、全勝同士の対決となった。お互いが西地区ということもあって、手の内を知りつくした感

じの両チームで試合開始から均衡した試合展開となった。高倉台がシュートをバーに当てチャンス逃したあとの前半10分、多井畑は高倉台ゴール正面約15mのところまでFKを得た。キッカーは長身でキック力のあるDFの曾根。短かい助走から放たれたボールはGK宮崎が懸命にジャンプする頭上を越え、直接ゴールとなった。前半は両チームとも広いグラウンドを十分に生かし切れず中央突破が目立った。高倉台、位田、多井畑、武原などのドリブルによる突破はスピードあるものだったが、ゴール前を厚く守られてシュートにはなかなか結びつけられなかった。

後半に入って高倉台は右サイドを中心に、外から攻め始めた。中盤で須藤がボールによく絡みゲームを組み立てた。多井畑がやや守勢になったものの最終ラインで体を張り突破を許さない。このまま逃げ切るかと思われた19分右サイドより高倉台のFW位田がゴールへ切り込みシュート。意外なシュートに多井畑GKは反応しきれずにゴールを許してしまった。秒針は残り50秒を指していた。

延長に入り激しい攻防が繰り広げられたが延長後半、須藤のセンターリングのこぼれ球を大上がシュートし高倉台が逆転に成功した。三年連続決勝へ進出した多井畑は、あとい歩のところで優勝を逃し無念の一言に尽きるが、試合内容は決して劣ってなかった。

また、高倉台は一度は失いかけた勝利を全員のねばりで奪い取り、堂々の優勝となって手塩にかけて育てて来た指導者の夢をかなえた。なお、この試合にさきだで行われた三位決定戦では千歳Aが東灘Aを破った。

体協ジュニア強化試合

兵庫県体育協会が主催するジュニア強化事業のサッカーの部は、県下五支部で行われている各支部高校トレセンと兵庫県中学トレセンチームに加え、正月の関西中学生選抜大会の兵庫県代表の神戸と西宮の中学選抜チームも参加して、12月25日から27日の3日間、磯上グラウンドで実施した。

今回の運営は大会方式を取らず、順位を決めない方法で行ったため、各チームの指導者は参加している選手全員をゲームに出場させることもでき、単独チームには無い良さを出すことが出来たと思われる。

参加チームの中で淡路選抜が、三原高の原、斉藤を中心にスピードと技術で他のチームを一歩リードしていた。神戸も滝二を除いたチームであったが選手層の厚さで各試合とも安定していた。西播選抜も福崎、竜野の選手を軸によくトレーニングを積んでいた。

一方、中学生の三チームもよく健闘し、県選抜、神戸市選抜が各一勝を上げた。

27日の午後は元全日本代表で、日立のコーチをしている瀬田竜彦氏を迎えてゴールキーパーの特別トレーニングを実施した。

阪神：1勝2分1敗 神戸：2勝1分1敗
西播：2勝0分2敗 西宮中：0勝1分3敗
東播：1勝1分2敗 神戸中：2勝0分2敗
淡路：3勝1分0敗 県中：1勝0分3敗

天に天国あり 地にフットボールあり

ヨーロッパ2カ月の旅

上野 勝幸



「ヨーロッパへ行って、チューリヒ。大阪からソウル、バンコク、ジェダを経由する、24時間を超える長旅である。機内に入るとカセットラジオを取り出した。英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語をチューリヒに着くまでにマスターしようという魂胆である。が、タクアンと同じで一夜漬けではしれている。一応イヤ

メキシコ・ワールドカップ

マラドーナが夢を運んだ

ホーンを耳に突っこんだが、先ほど飲んだビールが回ってきて、テーブルの音は鼓膜の所で止まったまま。無意識のうちに付けかえた機内のヘッドホンからは音楽が流れてくる。星のまたたきを水平の方向に見ながら西へ西へと進む機は、どのあたりに来ているのだろうか。ダイアナロスが歌い上げる「It's my turn」が次の育成、プロチームの活動状況を調べたいと考えていたが、できる範囲でイイやと軽い気持ちで構えた。最初の目的地はスイスの



<1>



▼黄金のワールドカップにぼろ寄せるマラドーナ
▲アルゼンチンの優勝が決まった瞬間のアステカ

が、センタースポットの位置に星状の陰を落としている。太陽が真上から照らす12時、西ドイツのキックオフ。意外にも静かなスタートだった。

立ちあがりから積極的に攻めこむ西ドイツに、アルゼンチンも負けていない。マラドーナを核としてじわじわと巻き返す。フリーキックから先制し、アルゼンチンの1-0で前半が終わるとB席を離れた。一度場外に出てA席へ向かった。実は試合直前にダフ屋からA席の切符も買っていたのだ。B席もそれなりに、いや試合全体を見渡せるという点では十分なのだが、ちょっとぜいたくな気分になられて高い値段に手を出した。切符の席は、たどりつこうとしたが、あはれ空席が見当たらない。だれかが勝手に座っているみただが、通路から人があふれ前に進めない。貴重な切符を持ちながら、押し合いへし合いの通路で我慢するハメになった。後半、追加点をあげたきえアルゼンチンの楽勝にみえた。これに対し西ドイツは、点を取るにはこれしかないと思われるセットプレーから2点を入れて追いついたが、その直後にブルチャガが決勝のシュートを西ドイツゴールにこころがしこんだ。タイムアップの笛が吹かれた。マラドーナの回りにプレーヤーの輪ができる。その輪が見る間に大きくなっていく。スタンドから入ることのできないはずの観衆までが裸足で駆け寄っていく。宙に舞う無数の銀の

紙ぶきがメキシコの太陽の光を受けてまぶしい。スピーカーからは腹の底に響く強烈なリズムが鳴り放しだ。先ほどまで22人の戦場だった緑のフィールドは、一転して狂乱の舞台と化した。西ドイツの選手が静かに去っていく中、マラドーナが黄金のワールドカップにぼろ寄せている。「ああ、天に天国あり、地にフットボールあり」フットボールに対して素直な気持ちになれる。

1969年7月20日の未明、宇宙船アポロ11号から送られてきた月面の映像に私はかたずを飲んだ。いま銀河かなたの宇宙人がアステカに降りたら、一体どんな表情を見せるだろうか。機首を下げたみたいだ。前方に少し体重がかかるのを感じて目を覚ます。深い眠りの中でワールドカップの思い出にふけていた。スチュワーズが真夜中のサウジアラビア・ジェダ空港に着陸することを告げている。さあ、あと数時間でチューリヒに着く。胸の高まりを抑えながら大急ぎでドイツ語のテープを回した。

(うえのかつゆき 写真も)

この連載は、ドイツを中心にヨーロッパ5カ国を歩いて得たフットボール見聞記をお送りするものです。

モンブランの
メインテーマ

“スピードサッカー”

基本のプレーを徹底的に追求し、機能性を第一に考えたサッカーシューズ

markam® & Luibe/o®

親しまれるサッカーウェア younger®

MONTBLANC

リアルスポーツの追求
モンブラン株式会社
神戸・東京・福岡

リベロメイン06
標準小売価格¥9,800